

令和2年度事業報告

防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する諸問題の解決と改善のため必要とされる施策についての調査及び研究を行い、また、防衛施設周辺等の住民の生活の安定及び福祉の向上に寄与する諸事業を推進するため、令和2年度において次の事業を実施した。

1 防衛施設周辺の航空機騒音度調査等事業

(1) 飛行場等の周辺に係る国からの騒音度調査等事業（W値事業）について準備したものの、発注はなかった。

(2) ① 航空機騒音、砲撃音の伝播予測に関する自主研究を行った。

② 各方面から電話、メール等による問い合わせを受け、その都度対応した。

2 防衛施設周辺の住宅防音等事業

(1) 住宅防音事務受託事業

国の住宅防音事業に係る事務手続補助等業務入札参加34件のうち、22件について落札・契約し、手続補助業務を実施した。

(2) 住宅防音事業の支援業務事業

住宅防音事業に係る補助事業者及び施工業者等からの相談等500件超に対応、支援した。

(3) 住宅防音実施後住宅に係る建具部品等の交換経費の助成事業

当年度は実施しなかった。

3 防衛施設周辺の調和事業

(1) 環境保全支援研修事業

防衛施設周辺整備全国協議会等との共催により、「全国基地周辺対策実務中央研修会」を実施した（コロナ禍のため、会員専用のホームページに資料掲載、一部冊子配布の形）。

(2) 環境保全対策融和事業

防衛施設周辺市町村若しくは自衛隊等協力諸団体等が実施する行事で、自衛隊等と防衛施設周辺住民との融和に資する行事等2件に対し、経費の一部を関係団体に助成した。

4 管理運営等

理事会及び評議員会をそれぞれ2回、コロナ禍による書面決議により開催し、会務の円滑な運営に努めた。

5 直前2事業年度の財産及び損益の状況 (単位：円)

区 分		令和2年度	令和元年度	増 減
財 産	期末正味財産	1,278,558,042	1,366,700,310	△88,142,268
	損 益			
	経 常 収 益	243,498,469	466,013,797	△222,515,328
	経 常 費 用	331,055,737	474,608,842	△143,553,105
	増 減 額	△87,557,268	△8,595,045	△78,962,223

6 公益目的支出計画

一般財団法人への移行： 平成26年4月1日（認可）

公益目的財産額： 1,940,139,858円（時価）

公益目的収支差額： △92,222,654円（毎年度）

実 施 期 間： 22年間（令和18年3月31日終了）

令和2年度公益目的収支差額： △94,405,809円

(実施事業等会計)

令和2年度末公益目的財産残額： 1,029,074,443円

(実施事業等会計)

今 後 の 実 施 期 間 : 12年間 当初計画より3年短縮

(令和15年3月31日終了)